

地域おこし協力隊が

只見町長に思いを伝える



只見町を盛り上げようと町外から移住してきた地域おこし協力隊の皆さんと只見町が、手を取り合ってより良いまちづくりを進めていくため、地域おこし協力隊の皆さんの思いや考えを町長に伝える場として懇談会を企画しました。協力隊の皆さんの思いや町長からのメッセージなどをお伝えします。



渡部 勇夫 町長

町長・皆さん、只見町にお越しいただきましてありがとうございます。心より歓迎いたします。改めまして本年もよろしくお願いいたします。この懇談会とおして、協力隊の皆さんと日ごろから意見交換が出来るような関係性を築いていきたいと考えています。皆さんにも今日の懇談会をそのきっかけにしていただければと思います。本日はよろしくお願いたします。

「地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけ」と「只見町を選んだ理由」について教えて下さい。



教育振興協力隊
越智 めぐみさん
令和2年11月着任

越智・以前務めていた塾が少子化により閉塾してしまいました。このままでは地方の子どもたちの可能性が狭くなっていくのではないかと、また地方と都市部の教育格差がますます広がるのではと考えていました。そんな中で、自治体等の協力を受け教育の底上げをする方法があることを知り、心志塾のような公営塾の存在もこの時に知りました。西日本の出身なので、他の地域の文化を学びながら教育に携わっていきたくて考えていたところ、只見町にたどり着きました。ご年配の方が文化や伝統を子どもたちに伝える活動をしていることが只見町の魅力と感じます。



教育振興協力隊
向坂 雄一郎さん
令和3年4月着任

向坂・実は仕事で20年くらい前から只見町と関わりがありました。そのころから素敵な場所だなと感じ、梁取地区で眺めた伊南川沿いの景色に感動したこともあり、こんな景色の場所に移住したいと思っていました。そのうち、私の子どもが只見高校に進学し、只見町に来る回数も増え、通うたびに只見町が好きになりました。私の中のやりたいことリストに「地方移住」があったこと、また子どもが高校卒業後に只見町で就職したこともあり、移住を決めました。只見町の景色は一つとして同じ日が無く毎日違う顔を見せてくれることも魅力に感じます。町長・教育環境はとても大切です。人生にも大きく関わる部分で、田舎だから仕方ないで終わらせることなく、都市部との教育格差を埋めていくことは課題として重要だと私も考えています。

「現在どのような活動を行っているか」また「活動の中で印象に残っていること」を教えてください。



教育振興協力隊
宗倉 汐理さん
令和4年6月着任

宗倉…今は、学生寮（奥会津学習センター）の施設管理や寮生のメンタルケアなどを行っています。ちょっと身近なお姉さんのような存在になればと思います。只見町の高校生は、働くことに対してキラキラ（前向き）していることが凄く素敵だなと感じました。私の地元の神奈川県では、こんなにキラキラしている子どもは見かけなかったです。今、課題として受け止めているものがあり、高校生のニーズと、学校や教育委員会、私からのニーズが上手くすり合わず、ギャップを感じています。

「これからチャレンジしたいこと」を教えてください。



教育振興協力隊
丹羽 貴一さん
令和3年4月着任

丹羽…今高校では、総合的な探究の時間などで地域の方に関わっていただいているものがあります。ただ県立高校ということもあり、まだまだ地域の人が関わりにくいという印象を受けています。より地域の人に関わっていただけるような環境をつくっていきたいと考えています。高校が何をしているのかというのを地域の人が見えるように開かれた高校というのを目指したいです。



ユネスコエコパーク推進協力隊
近藤 友太さん
令和3年12月着任

近藤…現在協力隊としてユネスコエコパークに関する事務

などをしながら、週末は農業を行っています。今後、ユネスコエコパークの推進普及と農業をくっつけて仕事の創出をしていきたいと考えています。只見ユネスコエコパークでは、ブナ林の植物をお菓子作りに生かすブナ林ブレンドというものを開発しています。個人としては、自分の農園で作った大豆をきな粉にし、きな粉棒にしていこうと動いています。いちごも作っています。只見産米粉と組み合わせ、さまざまなフレーバーの米粉クッキーをつくることを目指しています。只見町の食資源とエコパーク事業を掛け合わせて、まずは1人が生活できるモデルを創出したいです。

町長…中学校までは農家さんやブナセンターなど地域と関わる機会や学ぶ機会が多いが、高校になると機会が減っていき、ということも事実と認識しています。町としても町立高校というような感覚で携わっていきたいと考えています。

「特に町長にお願いしたいこと、伝えたいこと」を教えてください。



教育振興協力隊
中島 美穂さん
令和4年4月着任

中島…子どもに関わりの深い診療科が整うと子育て世代にとってありがたいと感じます。小児科や耳鼻科、皮膚科、出産などで産婦人科を専門で対応できるようにになると大きいと思います。

町長…医療の部分に関して、隣の新潟県では県央病院を建設しています。国道289号が開通することで、会津若松市に向かうよりも短時間でアクセスできることが期待されます。救急を含めて、只見町からの受け入れをお願いしている所ですが、小児科や産婦人科へのアクセスという部分は引き続き課題として捉えていきたいと考えています。

「原永・奥会津と呼ばれる奥地にある地域にも関わらず、これだけの文化が残っていることが他の地域とくらべても素晴らしいことだと思います。どう残していくかも大切ですが、どう活用していくかも重要だと思います。」



教育振興協力隊
原永 円香さん
令和4年4月着任

原永…奥会津と呼ばれる奥地にある地域にも関わらず、これだけの文化が残っていることが他の地域とくらべても素晴らしいことだと思います。どう残していくかも大切ですが、どう活用していくかも重要だと思います。

町長…今までは文化施設でも入館料を必要としていたが、ミュージアムは多くの人に足を運び文化に触れてほしいと入館料を無料にしました。一挙にさまざまな手を付けることは難しいが、まずは間口を広げました。また今年度、町では学芸員という職をつくりました。町の魅力を向上させていきたいと思います。

協力隊の皆さんには今号で紹介しきれない皆さんの熱い思いをお話しいただきました。町中で見かけたときは、町民の皆さんもぜひお声がけください。